

# 高梁川水系流域治水プロジェクト（素案）

令和2年7月6日公表

～平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と岡山の観光・工業の中心地を守る治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高梁川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成30年7月豪雨による洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ■河川における対策

国の対策内容 築堤（高潮堤）、築堤（断面確保）、堤防補強（浸透対策）、河道掘削、笠井堰左岸堰改築、真備緊急治水対策プロジェクト（国）等

※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

## ■流域における対策のイメージ

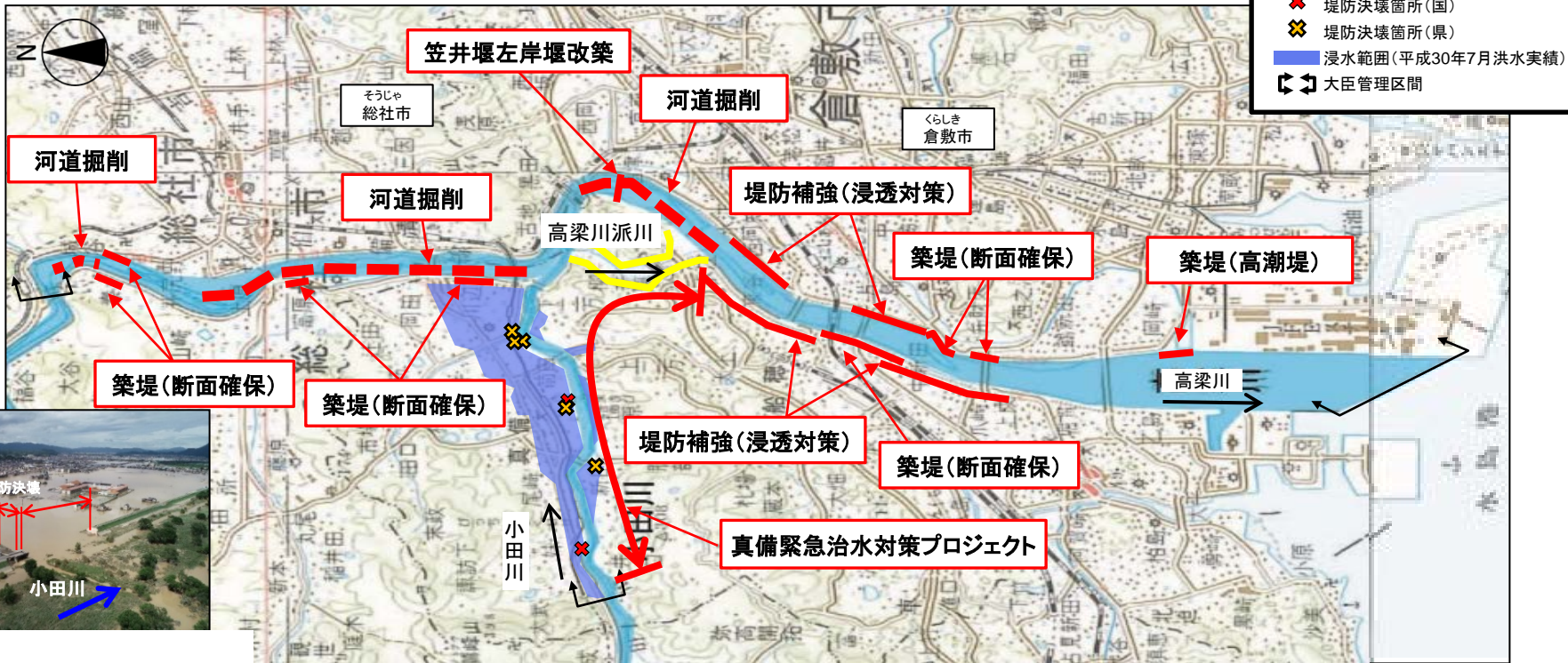
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・既存ダムでの洪水調節機能の強化
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等

※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



平成30年7月梅雨前線  
建物浸水被害約4,600棟  
(往家・非往家・床上浸水・床下浸水等内訳は確認中)※平成30年7月現在

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。